

1. 【開催案内】公開シンポジウム

「大学・職場・議会のハラスメントを根絶する ～国際比較をふまえて～」

2. 【開催案内】公開シンポジウム

「歴史学の「国際化」とは何か」



【開催案内】公開シンポジウム

「大学・職場・議会のハラスメントを根絶する ～国際比較をふまえて～」



【主催】日本学術会議法学委員会ジェンダー法分科会、法学委員会社会と教育
における LGBTI 分科会、社会学委員会ジェンダー研究分科会、第一部総合ジェ
ンダー分科会

【日時】2023年6月11日（日）13：30～17：00

【場所】オンライン

【参加費】無料

【事前申込み】要

【開催趣旨】

法学委員会「ジェンダー法分科会」では、第24期よりハラスメントに関する
実態や立法政策に関する勉強会やシンポジウム（「セクシュアル・ハラスメン
トをめぐる法政策の現状と課題ーハラスメント根絶に向けて」2018年9月3日
実施）を行ってきた。一方、国はこの間、労働領域のハラスメントに関し、職
場のパワーハラスメント等を予防したり対応する義務を全事業主に課すなどの
法改正を行った。この際、事業主には、性的指向・性自認（SOGI）等の属性に
関連するハラスメントにも対応すべきことも示された。また、2021年には候補
者男女均等法を改正し、地方議会等にセクシュアル・ハラスメントや妊娠・出
産等に関するハラスメントへの対応策を講じることを求めるなどの法整備も行
った。しかし、日本のハラスメント対応の法的水準とその運用は、ILOの「暴力
とハラスメントに関する条約・勧告」（2019年採択）などの国際水準には未だ
満たないものとなっており、日本において様々な領域におけるハラスメントを
根絶するために、海外の取組み等を踏まえ、今一度必要な法政策や対応を検討
すべき段階にある。そこで、このたび、この問題について議論を深めるため、
公開シンポジウムを行う。

【プログラム】<https://www.scj.go.jp/ja/event/2023/340-s-0611.html>

【問い合わせ先】scjsymposium@gmail.com

■

【開催案内】 公開シンポジウム
「歴史学の「国際化」とは何か」

■
【主催】 日本学術会議史学委員会国際歴史学会議等分科会

【共催】 日本歴史学協会

【日時】 2023年7月23日（日）13：30～17：20

【場所】 オンライン

【参加費】 無料

【定員】 500人

【事前申込み】 要

<https://forms.gle/2J2b83rev2essdS98>

【開催趣旨】

歴史学は学術である以上、本来、世界に開かれた性格を持っている。とはいえ、今世紀に入ってからの内外の情勢変化のなかでの確に対応していくためには、不断に「国際化」とは何かを吟味していくことが必要である。しかも、それは歴史学の教育・研究の特質に即した議論が求められる。

昨今、大学など日本の教育・研究機関では「国際化」をめざした施策がとられている事例も多いが、そのような場合に意義ある提案を行っていく前提としても、今回のシンポジウムでは、歴史学の「国際化」とは何かについて、真剣に問うておきたい。

【プログラム】

<https://www.scj.go.jp/ja/event/2023/342-s-0723.html>

【問い合わせ先】

歴史学の「国際化」とは何か・シンポジウム実行委員会

メールアドレス： rekishigaku2023@yahoo.co.jp

日本学術会議 YouTube チャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCV49_ycWmnfhNV2jgePY4Cw

日本学術会議公式 Twitter

https://twitter.com/scj_info

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://jssf86.org/works1.html>

=====

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らってください。

過去のメールニュースは、日本学術会議ホームページに掲載しております。

<https://www.scj.go.jp/ja/other/news/index.html>

【本メールに関するお問い合わせ】

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。

本メールに関するお問い合わせは、下記の URL に連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

=====

発行：日本学術会議事務局 <https://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34